

ネパール



カブレ

バラト・ビスタさん



(男性・60才・1期・82年度)
-農業(養鶏、果樹)
-サマ・セウ・サムハ(SSS)という団体をおこし、その代表として仕事をすすめる他、「BBP PARIBAR」というNGOの活動の代表も務める。

ビシュヌ・アディカリさん



(男性・57才・2期2班・83年度)
-農業(養鶏、養豚)
家族計画協会職員として村人に栄養改善、保健衛生、植林、苗木の配布、等幅広い範囲を指導してきた。現在は退職し、農業を行う。

ビショジョティ・サブコタさん



(男性・46才・13期・95年度)
-農業(稲作、野菜)
来日前の仕事SSSの活動に戻ったが現在は退職し、別の団体の活動。

ビドゥル・ビスタさん



(男性・39才・14期・96年度)
-農業(稲作、野菜)
地域の生活改善団体SSSのスタッフに復帰し、組織運営を中心に農村を巡回しての指導を行っていたが、現在は米国で生活。

ビショさん



(男性・24才・27期・09年度)
-農業、保健衛生、栄養
帰国後、村の人に働きかけて立ち上げた農業協同組合での活動中。カトマンズガハテ学連にも所属し、村と都会の連携活動をとります。

ウルミラさん



(女性・29才・28期・10年度)
-助産、看護、保健衛生
現地NGO、SSSに助産師として復職。助産師2人で、24時間体制でお産に対応している。また地域では虫歯予防や栄養向上の活動などを行う。

ミンクマリさん



(女性・19才・28期・10年度)
-農業(稲作、野菜)、保健衛生
現在は助産師になるべく学校で勉強中。2年後に資格を取得し、村での応急手当や保健衛生活動に取り組むのが目標。

バッサンさん



(女性・20才・29期・11年度)
-農業(稲作、野菜)、保健衛生
有機農業や保健衛生、栄養の研修中。帰国後は村の組合で養鶏や野菜などの計画栽培及び販売促進などに取り組む計画。

ラメシュさん



(男性・26才・29期・11年度)
-農業(養鶏、稲作、野菜)
養鶏や有機農業の研修中。帰国後は日本で習った養鶏技術の普及、鶏が病気になるための環境整備や小屋作りなどの実践を予定。

ポカラ

ラダ・バンストローさん



(女性・66才・2期1班・83年度)
-編物、洋裁
編物グループを結成し、仕事のない女性の収入向上を図る。併せて識字教室も実施。毎年、日本にセーターが届く。

サビトリ・シュレスタさん



(女性・42才・15期・97年度)
-保健衛生、編物、洋裁
ラダさんの編物グループの一員として活動。また日本語学校の教師や海外NGOのボランティアも行う。

サビトリ・バストローさん



(女性・32才・16期・98年度)
-保健衛生、編物、洋裁
ラダさんの編物グループの一員。最近はお豆腐づくり、布製品など手工芸品にもとりくむ。

カトマンズ/バタン

ブレンドラ・アマティアさん



(男性・54才・1期・82年度)
-農業(養鶏、野菜)
帰国後は養鶏を行ってきたが、現在は食品会社に勤務しながら結核予防会のボランティアを行う。家業である菓屋も手伝う。

スリジャナ・サーヒさん



(女性・62才・2期1班・83年度)
-編物、手工芸
カトマンズ、ドカトール地区でマザーズクラブという女性の団体で手工芸品づくりを中心の活動をしてきた。

ニールム・ガウチャンさん



(男性・54才・3期・85年度)
-保健(指圧、栄養、大豆加工)
ボランティアとして結核予防指導等を行う。大学院を終了し、教育・福祉関係の仕事に携わる。

ショーバナ・シュレスタさん



(女性・49才・3期・85年度)
-編物、洋裁
帰国後スラム地区の女性の生活改善のために洋裁、編物の指導を行った後、結婚。現在は兵庫県に住む。

ダイレク

サンバ・カヤスタさん



(男性・2期1班・83年度)
-保健(指圧、リハビリ、臨床検査)
ネパール西部ダイレクにCommunity Health Development Programという団体を設立し、農山村の人々に保健衛生、結核予防指導等を行ってきたが、'09年2月に逝去。